

受 験 番 号					

氏 名	

2017(平成29)年度
放送大学大学院博士後期課程
文化科学研究科 文化科学専攻

社会経営科学プログラム

筆記試験問題 (小論文試験)

試験日：2016(平成28)年10月2日(日)
試験時間：13時00分～15時00分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、HB又はBの黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「問題冊子1冊」「解答用紙3枚」及び「下書き用紙3枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、問題冊子を確認してください。**問題冊子は、表紙、白紙、問題(1頁)**の順に綴じられています。冊子をとじているホッチキス針をはずしたり、中身を破って取ったりしてはいけません。問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合は、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙の所定欄に、所属を希望するプログラム名、氏名、受験番号及び解答用紙の何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
7. 解答用紙1枚につき、1,000字まで記入することができます。**解答用紙3枚のうち、社会経営科学プログラムは3枚で解答**してください。指定された字数を超えないよう、注意して解答してください。
8. 問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を持ち帰ってはいけません。
9. 問題冊子は試験終了後に回収します。問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始から40分を経過した後は、問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

社会経営科学プログラム

筆記試験問題（小論文試験）

問1あるいは問2のいずれかを選択して、3000字以内で解答しなさい。

問1

自らの博士論文のテーマに関する、現時点で把握している「先行研究」について系統に従って簡潔にまとめ、この先行研究の展望と、今後予想される博士論文の方向性と、どのような関係にあるのかについて論ぜよ。その際、博士論文の実現可能性（テーマ追究についての問題提起の妥当性、分析の論理的正当性、研究計画の実現可能性など）について、現時点で知り得る範囲内で論述しなさい。

問2

自らの博士論文のテーマ追究で採用したいと考えている「社会科学の分析方法」について、既存の具体的事例を挙げながら、説明しなさい。その際、自分の論文で採用する研究方法に必要とされる資料、データ、文献などについて、具体的な名称をあげて解説し、その研究方法の適用から期待される学問的、実践的成果の可能性について述べなさい。

以上